

高野参詣道



unesco
World Heritage Site
世界遺産・紀伊山地の霊場と参詣道の構成遺産である参詣道

弘法大師空海入定以来、大師信仰の広まりとともに、人々の参拝が盛んになり、高野山に通じる七つの道が高野七口と呼ばれました。明治5年(1872)まで高野山は女人禁制であったため、女性は高野山に入らず、七口の各入口にはお籠り堂として女人堂が建てられていました。七つの女人堂を結ぶ道は女人道と言われ、八葉蓮華の峰々をめぐるながら、女性たちは大師御廟に手を合わせたと言われていました。

旅のお問い合わせは

- 橋本・伊都広域観光協議会事務局 (伊都振興局地域づくり課) TEL.0736-33-4909
- 橋本市シティプロモーション課 TEL.0736-33-6106
- (一社) 高野山麓ツーリズムビューロー TEL.0736-26-7988
- はしもと広域観光案内所 TEL.0736-33-3552
- かつらぎ町産業観光課・観光協会 TEL.0736-22-0300
- 九度山町産業振興課・観光協会 TEL.0736-54-2019
- 高野町観光振興課 TEL.0736-56-2780
- (一社) 高野町観光協会 TEL.0736-56-2468
- (一社) 高野山宿坊協会 TEL.0736-56-2616
- 五條市観光振興課 TEL.0747-22-4001
- 野迫川村産業課 TEL.0747-37-2101
- 和歌山県観光振興課 TEL.073-441-2424

和歌山県街道マップ

高野参詣道

町石道・女人道・高野三山・三谷坂
京大坂道・黒河道・大峰道・
有田龍神道・相ノ浦道



聖地
リゾート
和歌山

町石道とは、高野山麓の慈尊院から大門を経て奥之院へ至る約24kmの参詣道です。高野七口に至る七本の参詣道のうち、町石が約109m毎に立つこの道は、皇族や武士達から一般庶民に至るまで威儀を正して上った表参道でありました。慈尊院は弘法大師空海の母君が晩年ここに移り住み、高野山へ登れないために、弘法大師空海自ら逢いに訪れたところです。このことから、「女人高野」ともいわれましたが、その後、高野山の寺領支配や諸国からの年貢を集めるために高野政所が置かれ、また皇族や貴族の休憩所・宿泊所となり、高野山の玄関口としての役割を果たしました。母君の墓所の弥勒堂(国重要文化財)に安置されている弥勒菩薩坐像には、高野山創建当時の寛平五年(893)の銘があり、国宝に指定されています。166町石を過ぎたあたりの展望台からは、紀の川平野の眺めがひろがり、東には奈良・三重県境の高見山(標高1248m)、東南には高野の山並みが望めます。雨引山との分岐点から六本杉(天野峠)に至り、まっすぐ下ると楼門、本殿が国重要文化財指定の丹生都比売神社に着きます。地主神である丹生都比売大神と弘法大師空海を高野山に導いた狩場明神(高野明神)をお祀りしています。矢立から大門への道は厳しい山坂となりますが、それだけに自ら歩いた充足感と高野山の霊域に踏み入った深い感動に身も心も洗われることでしょう。

ルートその1[P6へ] 町石道九度山駅～上古沢駅

このコースは、南海高野線九度山駅から戦国の名将真田親子隠棲の地「真田庵」に立ち寄り、古くから女人高野として名高い九度山町の名刹「慈尊院」の門をくぐるところからはじまります。慈尊院より「丹生官省符神社」へ向かう石段の途中に町石道の起点180町石がひっそりと佇み、ここからいよいよ町石道が始まります。しばらく進んだ173町石付近から本格的な登りとなり、紀の川の風景を背にして高度を稼いでいきます。また、慈尊院・丹生官省符神社付近～166町石・展望台付近は有数の富有柿の産地として知られています。杉林の中に入ると気持ちの良い比較的平坦な地帯が続く、一里石を過ぎると町石道と「丹生都比売神社」方面との分岐点である「六本杉」へ。ここでは静寂に包まれた天野の里に鎮座する「丹生都比売神社」に是非訪れてみてください。

ここから2つのルートのどちらかを選択して町石道に戻った後、南海上古沢駅をめざして一気に下ります。 町石道起点180町石



ルートその2[P8へ] 町石道上古沢駅～壇上伽藍

このコースは、南海上古沢駅から柿畑の中を一気に駆け上がり、町石道にたどり着くことから始まります。古峠で町石道に合流後、比較的平坦な尾根道を二ツ鳥居、二里石、笠木峠と進み、「矢立」に至ります。矢立は町石道上の要衝で国道370号との合流点付近に60町石があります。

矢立から町石道は、高野山大門に向けての最後の登りにさしかかり、袈裟掛石・押上石・四里石と登って金剛峯寺大門へ。険しい町石道を登りきった者を讃えるのかのごとき勇壮な大門の姿に、大きな感動を味わっていただけることでしょう。ここ大門を過ぎ、山内の道を通ってゆけば、壇上伽藍へ程なく到着です。

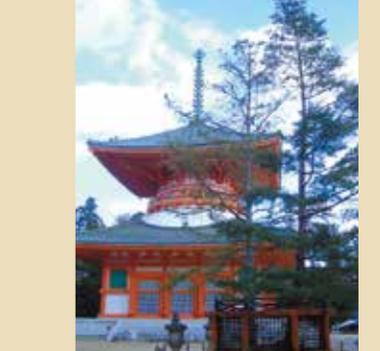
大門 二ツ鳥居



ルートその3[P10へ] 町石道壇上伽藍～弘法大師御廟

高野山内の二大聖地である「壇上伽藍」と「奥之院」を結びルートで、全行程を通じて高野山上の盆地を行く平坦なコースです。壇上伽藍から、高野山真言宗総本山金剛峯寺に立ち寄り、高野山内のメインルート沿いに、「苜蓿堂」から奥之院参道入口の「一の橋」へと、見所の多いこの区間は時間に余裕を持って歩きたいもの。コースを外れて点在する寺院に参拝しながら進みましょう。一の橋を過ぎるといよいよ奥之院の霊域に。参道の両側には、戦国武将や江戸時代の大名、歴史に名を馳せる高僧を含む、20万基とも40万基ともいわれる墓石が所狭しと立ち並び、この世とは思えぬ幻想的な風景が広がります。最後に弘法大師空海が生き身のままご入定されているといわれる「御廟」に参詣すれば、身も心も清められることでしょう。

根本大塔



一の橋 御廟橋



ルートその4[P12へ] 女人道・高野三山巡り

高野山は八葉の峰と呼ばれる1000m前後の山々に囲まれた山上の盆地で、明治5年に女人禁制が解かれるまで、厳しく女性の入山を規制してきました。高野山への参詣道としては俗に「高野七口」と呼ばれる街道が通じており、かつては各入口に女性のための籠り堂として女人堂が建てられ、女人信者は御廟を拝みたいと、女人堂から女人堂へ八葉蓮華の峰々を辿ったといわれ、この道を「女人道」と呼んでいます。

このコースは、どちらも往時の女人道を辿るもので、峰々を周回する女人道を基本とした、2つのコースを紹介しています。



女人堂(不動坂口)

和歌山県街道マップのご利用にあたって

- この街道マップは、「高野参詣道」「熊野古道」に代表される和歌山県の街道を多くの方に歩いて触れていただくことを目的に制作したものであり、学術的な調査や研究に基づいて、古道ルートを規定・限定する意味で作られたものではありません。予めご承知のうえご利用ください。
- 「高野参詣道」「熊野古道」等の和歌山県の街道に関する情報・解説などは、和歌山県観光ホームページ(<https://www.wakayama-kanko.or.jp/>)の「世界遺産 高野山」、「世界遺産 熊野・熊野古道」でご覧いただけます。
- 登山届について
万が一に備え、必要に応じて登山届を提出しましょう。詳細は和歌山県警察 HP をご確認ください。
・問い合わせ先：和歌山県警察本部地域指導課【TEL】073-423-0110



古道散策の際には、以下のルール・マナーを守って歩きましょう。

- ゴミ(弁当からや空き缶・ペットボトル等)は、必ず持ち帰りましょう。
- 古道沿いの植物を傷つけたり、自然の草花を持ち帰ったりすることはやめましょう。
- 歩行が原則です。やむをえないとき以外は走らないようにしましょう。
- 歩きタバコやポイ捨ては絶対にやめ、喫煙マナーを守りましょう。
- お互いに気持ちよく挨拶を交わしましょう。
- トレッキングポールを使用する場合は先端の石突きにゴムキャップを使用するなど、道を傷つけないようにしましょう。
- 山中人気のない所や、携帯電話の通じないエリアもありますので、事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。また、山中は日の入り時間よりも1時間以上早く暗くなるエリアがありますので、十分ご注意ください。

高野参詣道マップ

町石道、女人道巡り、高野三山巡り、三谷坂、京大坂道、黒河道、大峰道、相ノ浦道、有田・龍神道、熊野古道小辺路 (別冊)

九度山駅～上古沢駅
▶P6,P7

黒河道(橋本駅～高野幹部交番)
▶P20,P21,P22,P23

三谷坂(妙寺駅～丹生都比売神社)
▶P14,P15

京大坂道(学文路駅～不動坂口女人堂)
▶P16,P17,P18,P19

上古沢駅～壇上加藍
▶P8,P9

高野三山巡り
摩尼山・楊柳山・転軸山
▶P12,P13

壇上加藍～弘法大師御廟
▶P10,P11

有田・龍神道(はなぞの温泉～大門・龍神口)
▶P26

大峰道(小代下～奥之院)
▶P24,P25

相ノ浦道
P27

不動坂口女人堂～奥之院
▶P12,P13

女人道巡り

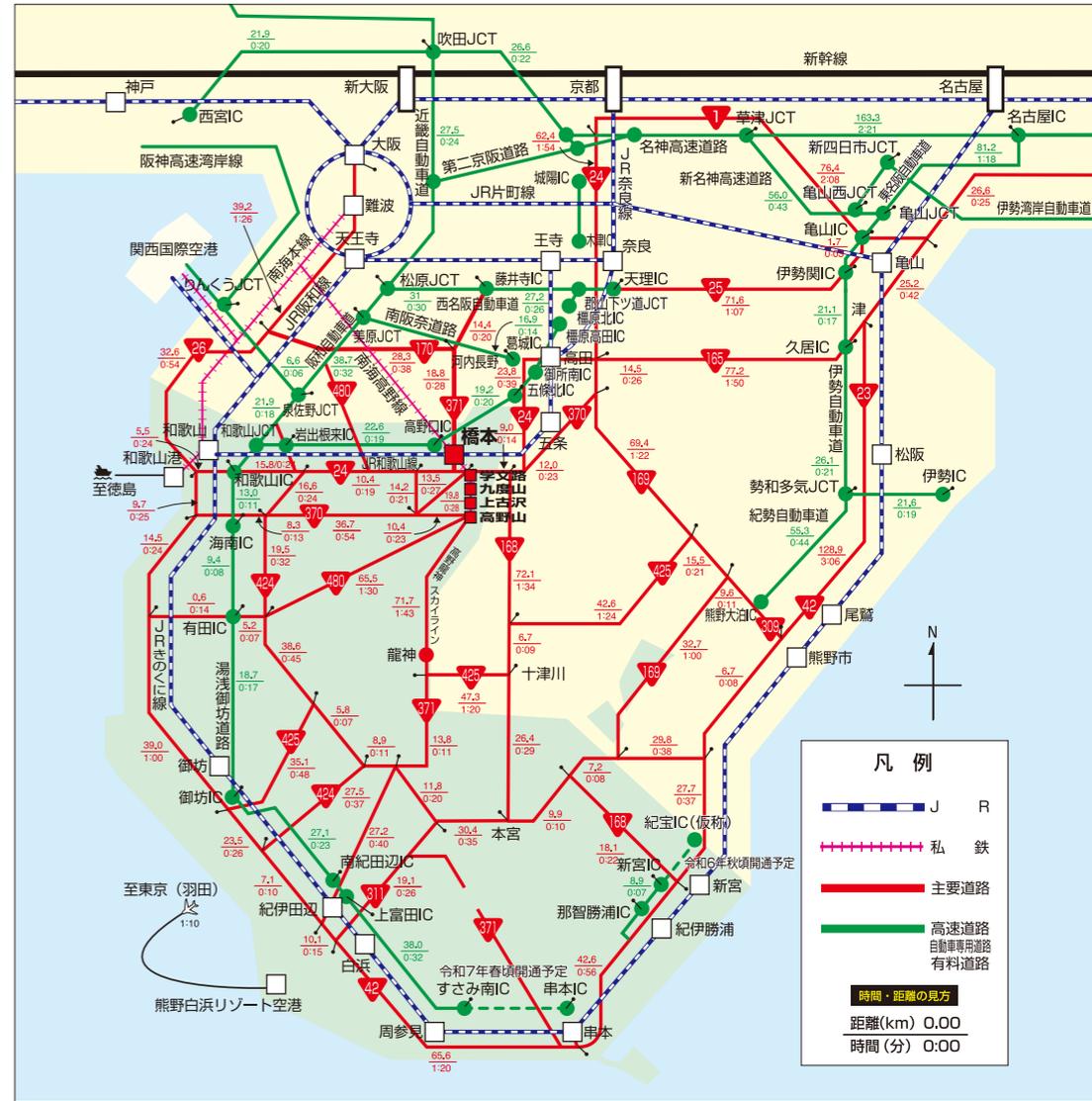
熊野古道 小辺路(別冊)

登山アプリ「YAMAP」では、和歌山県街道マップの各コースについて、地図データが利用できます。

アプリのダウンロードは右のQRコードから▶



高野参詣道アクセスガイド



電車

■南海高野線(特急こうや)

お問い合わせ先: 南海電鉄コールセンター TEL.050-3090-2608 (8:00~21:00)



空路

■日本航空 (JAL) TEL.0570-025-071
■全日本空輸 (ANA) TEL.0570-029-222
■スターフライヤー (SFJ) TEL.0570-07-3200

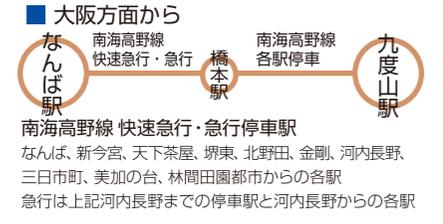


【高野参詣道町石道 九度山駅(九度山町)～上古沢駅(九度山町)】

聖地高野山への表参道である町石道は、弘法大師空海が高野山を開山して以来、信仰の道とされてきました。その道しるべとして建てられたのが町石で、高さ3メートルを超す五輪塔形の石柱が、根本大塔を起点として慈尊院まで180基、弘法大師御廟まで36基建てられています。その8割以上が鎌倉時代に建立されたもので、今なお昔の面影を残しています。かつては町石ひとつひとつに礼拝して登ったと言われる町石道ですが、現在は道も整備され、180の町石を数えながらハイキング気分で歩けるコースになっています。

スタート地点までのアクセス

大阪方面からは、南海高野線「なんば駅」を起点に高野山極楽橋行き快速急行または急行を利用して「九度山駅」へ。(一部高野下止めの列車もございませす)
和歌山方面からは、JR和歌山線を利用のうえ「橋本駅」で南海高野線に乗り換え九度山駅へ。



お帰りは

南海高野線「上古沢駅」でゴールし、快速急行または急行を利用して大阪方面へ。和歌山方面へは、「橋本駅」で南海高野線からJR和歌山線に乗り換えとなります。



標準の歩行記録 (参考行程:見学時間等を含む)

南海九度山駅	真田庵	慈尊院	丹生官省符神社
10:00	10:08	10:20	10:35
			11:10
(弘法大師母公ゆかりの名刹をゆっくり見学)			
		展望台	雨引山分岐
		12:00	12:40
		13:05	13:10
		13:45	
(勝利寺にも立ち寄る)(展望台で昼食)			
		丹生都比売神社	六本杉
		14:05	14:25
		14:50	15:15
		16:15	
(丹生都比売神社をじっくり見学)			

沿道の花ごよみ

丹生都比売神社	サクラ	見頃	4月上旬～中旬
真田庵	ボタン	見頃	4月下旬
沿道一帯	紅葉	見頃	11月中旬

花の見頃は年により異なる場合があります。

歩行距離 13.1 km
標準歩行時間 4時間 06分 (六本杉～丹生都比売神社間往復)
標準所要時間 6時間 15分 (六本杉～丹生都比売神社間往復)

九度山駅から真田庵に立ち寄り、慈尊院から町石道を通って上古沢までのルート。町石道の起点180町石から卒塔婆石をひとつひとつ数えながら歩く町石道は快適な道。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

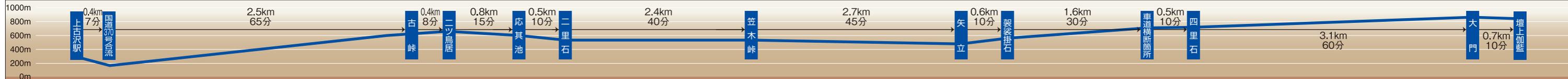


高野参詣道町石道 上古沢駅(九度山町)～壇上伽藍(高野町)

歩行距離 16.2km
標準歩行時間 5時間10分
標準所要時間 6時間55分

上古沢駅から古峠まで登り、町石道に合流後、大門を通って壇上伽藍までのルート。
慈尊院からはじまった町石道は、壇上伽藍根本大塔にたどり着きます。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

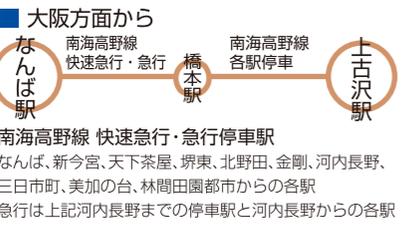


- ### 凡例
- 町石
 - 土産販売所
 - スタンプ
 - お手洗
 - 見晴らしポイント
 - 道標
 - 公衆電話
 - 朝日・夕陽100選
 - 自販機
 - バス停
 - 休憩所
 - コンビニ



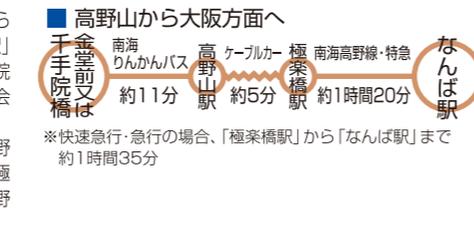
スタート地点までのアクセス

大阪方面からは、南海高野線「なんば駅」を起点に高野山極楽橋行き快速急行または急行を利用して「上古沢駅」へ。
和歌山方面からは、JR和歌山線を利用のうえ「橋本駅」で南海高野線に乗り換え「上古沢駅」へ。



お帰りは

壇上伽藍に到着した後、「金堂前」から南海りんかんバスを利用し、「高野山駅」へ戻ります。また、壇上伽藍から奥の院方向に約10分程歩き、高野山宿坊協会前にある「千手院橋」バス停に出れば、バスの運行本数も多く便利です。「高野山駅」からは、ケーブルカーを利用して「極楽橋駅」へ。「極楽橋駅」から南海高野線を利用して、大阪方面に戻ります。



標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

南海上古沢駅	9:30	古峠	10:50	二ツ鳥居	10:55	応其池	11:03	二里石	11:40	笠木峠	12:05	矢立	12:55	袈裟掛石	13:40	車道横断箇所	14:40	四里石	15:00	大門	16:00	壇上伽藍	16:15	16:25
												(途中の急坂で休憩を挟む)						(最後の登りを前に小休憩)		(根本大塔に到着後高野山内宿坊で宿泊)				

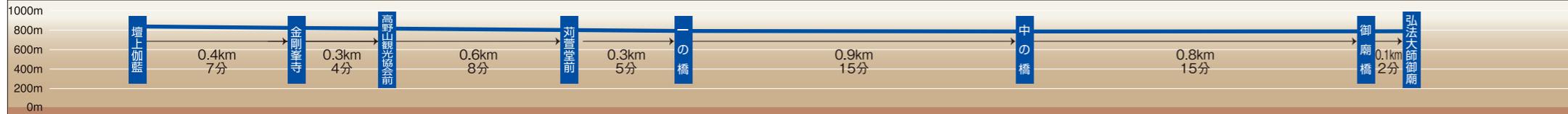
「高野参詣道町石道」上古沢駅～壇上伽藍
壇上伽藍(弘法大師御廟)P10

高野参詣道町石道 壇上伽藍(高野町) ~ 弘法大師御廟(高野町)

歩行距離 3.4km
標準歩行時間 56分
標準所要時間 2時間02分

高野山の二大聖地、壇上伽藍と奥之院を結ぶ霊場高野参詣のメインルート。
短い距離の中に見どころが満載、時間に余裕を持ってじっくりと歩きたい。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



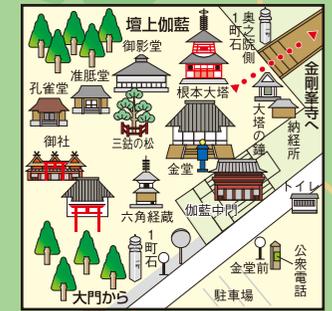
- ### 凡例
- 町石
 - バス停
 - トイレ
 - コンビニ
 - 公衆電話
 - 墓碑
 - 自販機
 - 案内所
 - 休憩所
 - 情報コーナー
 - 土産販売所
 - スタンプ

ひとくちメモ

高野山内は、町石道だけでなく、点在する見所を、時間をかけてじっくり歩きたいものです。前日から高野山に入り、宿坊で宿泊のうえ、朝から参拝し歩いた方が、より高野山の奥深さを味わっていただけることでしょう。

山内では、現在50カ寺が宿坊寺院としてご利用いただけます。それぞれに特色があり、美しいお庭の鑑賞、修行僧が配膳してくれる精進料理、本堂での早朝勤行など、日常とは異なった時間をお過ごしいただけることでしょう。

お問い合わせ：(一社)高野山宿坊協会 TEL.0736-56-2616



スタート地点までのアクセス

大阪方面から

なんば駅 約1時間20分
極楽橋駅 約5分
高野山駅 約11分
金堂前又は千手院橋

南海高野線 特急こうや停車駅
なんば、新今宮、天下茶屋、堺東、金剛、河内長野、林間田園都市、橋本、極楽橋

南海高野線 快速急行・急行停車駅
なんば、新今宮、天下茶屋、堺東、北野田、金剛、河内長野、三田市町、美加の台、林間田園都市からの各駅
急行は上記河内長野までの停車駅と河内長野からの各駅

お帰りの方は

奥の院前から大阪方面へ

奥の院前 約21分
高野山駅 約5分
極楽橋駅 約1時間20分
なんば駅

※急行・快速急行の場合、「極楽橋駅」から「なんば駅」まで約1時間35分

標準の歩行記録 (参考行程:見学時間等を含む。前日は高野山内宿坊に宿泊しゆっくり歩きました。)

壇上伽藍	金剛峯寺	高野山宿坊協会前	叡宣堂	一の橋	中の橋	御廟橋	弘法大師御廟
8:30	8:37	9:00	9:04	9:12	9:30	9:35	10:05
(高野山真言宗の総本山に参拝)			(堂内参拝)		(諸大名墓石を探しながら歩く)		
		(水向地藏にもお参り)		(納経所に立ち寄り奥の院前バス停へ)			

沿道の花ごよみ

金剛峯寺はじめ山内
金剛峯寺門前
金剛三昧院はじめ山内各所
山内各所
花の見頃は年により異なります。

桜...見頃 4月中旬~下旬
シダレ桜...見頃 4月中下旬
シャクナゲ...見頃 5月上旬~中旬
紅葉...見頃 10月下旬~11月中旬

「高野参詣道町石道壇上伽藍」弘法大師御廟

女人道巡り・高野三山巡り(P12)

【女人道巡り・高野三山巡り】

女人道
 歩行距離 6.9km
 標準歩行時間 2時間17分
 標準所要時間 3時間35分

高野三山
 歩行距離 10.7km
 標準歩行時間 3時間07分
 標準所要時間 4時間40分

奥之院を中心に蓮の花びらにたとえられた女人道。高野七口といわれた高野山の七つの入口をめくり、周囲の山々を尾根伝いに回るコースです。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



- 凡例**
- トイレ
 - 公衆電話
 - 自販機
 - 休憩所
 - 見晴らしポイント
 - 朝日・夕陽100選
 - 土産販売所
 - バス停
 - スタンプ
 - 案内所
 - ①～⑦ 高野山女人道看板

女人道巡り
 高野山は、明治の初めまで女性が山内に入ることを禁じていました。そのため、高野山の各入口には女性のための籠り堂として女人堂がつくられ、女人信者は御廟を拝みたいと八葉蓮華の峰々をめぐる女人道をたどったといわれています。現在は不動坂口にのみ女人堂が残っていますが、そのほかの入口には女人堂跡が残っています。今も自然豊かに、昔の面影をとどめている道を歴史を感じながらゆっくりと歩いてはいかがでしょうか。また、女人道は「女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒やしの聖地～」として日本遺産に登録されています。



高野三山巡り
 奥の院前バス停を起点に、大師御廟をとり囲むようにそびえる摩尼山・楊柳山・転軸山の高野三山を巡るコースです。標高1,000m前後の峰々のアップダウンを繰り返し、弘法大師御廟へ至ります。

各スタート地点までのアクセス

大阪方面から
 なんば駅 南海高野線・特急 約1時間20分
 極楽橋駅 ケーブルカー 約5分
 高野山駅 南海りんかんバス 約7分
 奥の院前 女人堂 約11分
 南海高野線 特急こうや停車駅 なんば、新今宮、天下茶屋、堺東、金剛、河内長野、林間田園都市、橋本、極楽橋
 南海高野線 快速急行・急行停車駅 なんば、新今宮、天下茶屋、堺東、北野田、金剛、河内長野、三日月町、美加の台、林間田園都市からの各駅
 急行は上記河内長野までの停車駅と河内長野からの各駅

お帰りは

女人道巡りコースは「奥の院前」バス停、高野三山コースは「一の橋口」バス停でゴールし、南海りんかんバスを利用。「高野山駅」からケーブルカーで「極楽橋駅」へ。「極楽橋駅」から南海高野線を利用して大阪方面へ戻ります。

高野山内から大阪方面へ
 奥の院前 南海りんかんバス 約3分
 一の橋 約15分
 高野山 ケーブルカー 約5分
 極楽橋 南海高野線・特急 約1時間20分
 なんば駅

標準の歩行記録 (参考行程: 見学時間等を含む。日帰りで歩きました。)

女人道巡り

不動坂口女人堂前	弁天岳	大門口女人堂跡	大門口
10:15	10:35	10:45	10:55 11:00 11:07 11:50
(少し早めの昼食休憩)			
相の浦口女人堂跡	大滝口女人堂跡	円通律寺	大峰口女人堂跡
12:20	12:25	12:40 12:45	13:05 13:10 13:20 13:25
奥の院前バス停			
13:50			

高野三山巡り

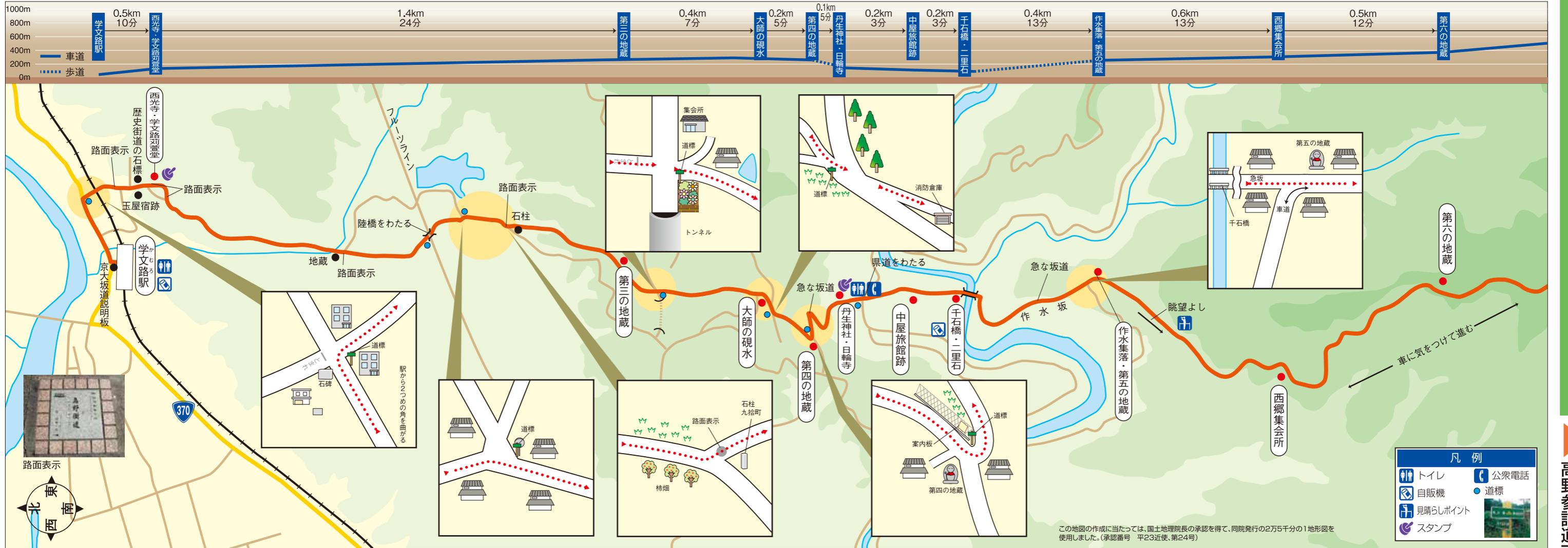
奥の院前バス停	玉川橋	摩尼峠	摩尼山	黒河峠	楊柳山
10:30	10:37	10:57	11:05 11:15 11:25	11:45	12:00 12:40
(山頂で昼食休憩)					
粉撞峠	十字路口	転軸山	弘法大師御廟	一の橋	
12:55	13:20	13:30 13:45	14:20 14:40	15:10	
(粉撞地蔵にもお参り)					
(山頂で少し休憩)			(弘法大師御廟に参拝)		

高野参詣道京大坂道 学文路駅(橋本市)～不動坂口女人堂(高野町)

歩行距離 9.5km
標準歩行時間 3時間26分
標準所要時間 4時間57分

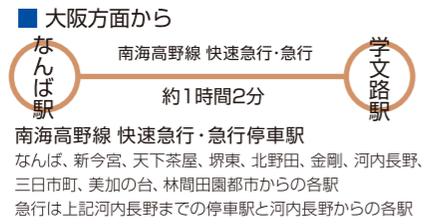
京都府八幡市・大阪市・堺市から東・中・西高野街道が河内長野市までに合流し、紀見峠を越えて和歌山県に入り、学文路駅から宿場跡をたどりながら不動坂口女人堂へ至る京大坂道。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



スタート地点までのアクセス

大阪方面からは、南海高野線「なんば駅」を起点に高野山極楽橋行き快速急行または急行を利用して「学文路駅」へ。
JR和歌山線をご利用の場合は、橋本駅から南海高野線にて「学文路駅」へ。



六地藏

江戸時代に京大坂道の参詣者の安全登山を祈って作られた六地藏であり、今も子安地藏として信仰されています。六地藏の第1の地藏は橋本市清水地区、第2の地藏は橋本市南馬場地区、第3の地藏は九度山町繁野地区、第4の地藏は九度山町河根地区、第5の地藏は高野町作水地区、第6の地藏は高野町桜茶屋地区にあります。

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

学文路駅	西光寺・学文路苺萱堂	丹生神社・日輪寺	第五の地藏	第六の地藏	極楽橋	不動坂口女人堂
10:02	10:12	10:30	11:11	11:25	11:44	12:00
(休憩)						
12:25	13:00	13:57	14:05	14:59		
(昼食・休憩)		(休憩)				

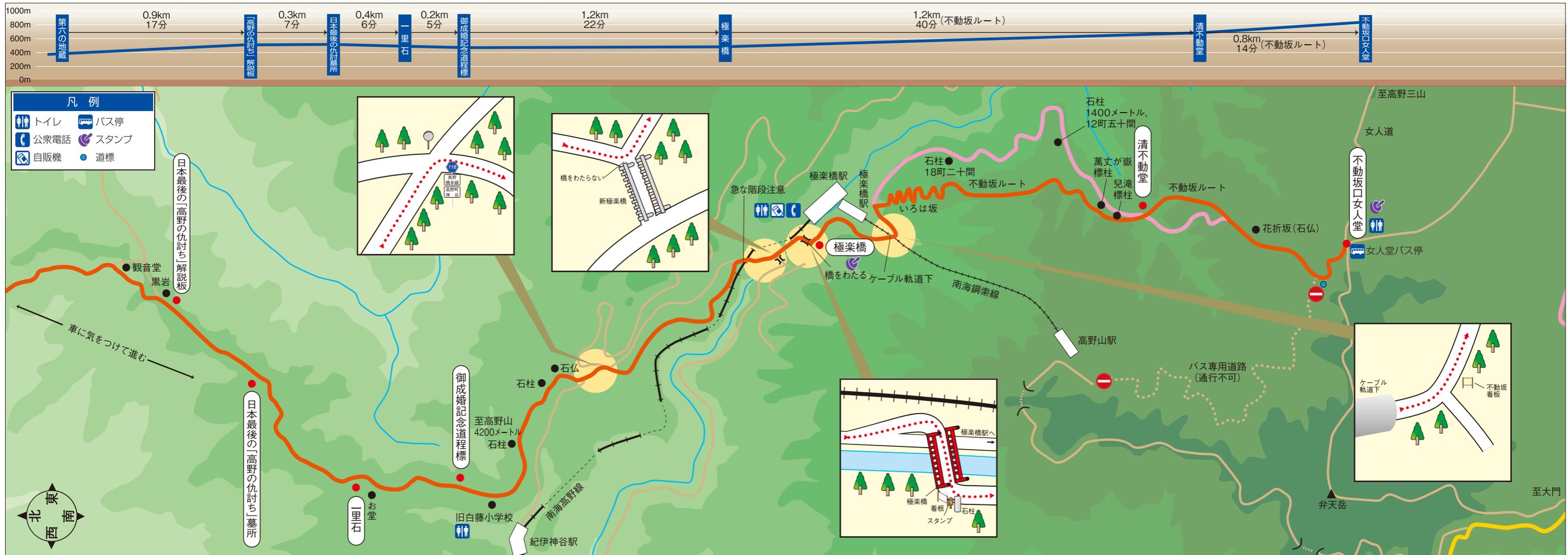
・当地には、携帯電話の不通区間がございますので留意下さい。
・獣類の出没、冬期には積雪情報に充分ご注意下さい。

高野参詣道京大坂道 学文路駅(橋本市)～不動坂口女人堂(高野町) ②

歩行距離 9.5km
標準歩行時間 3時間26分
標準所要時間 4時間57分

当ルートのご案内(ガイド)についてのお問い合わせは、高野町観光振興課 ☎0736-56-2780
九度山町観光協会 ☎0736-54-2019 はしもと広域観光案内所 ☎0736-33-3552

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



日本最後の「高野の仇討ち」

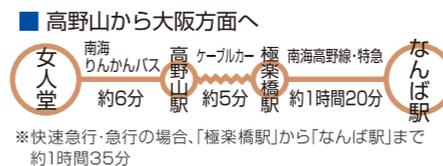
文久2年(1862)に播州赤穂藩においてお家騒動があったことが発端となって、明治4年(1871)2月30日(旧暦)に高野山の近くの宿場である神谷の黒岩付近で仇討ちがありました。この事件から2年後の明治6年(1873)に政府から「復讐禁止令」が出されて仇討ちは禁止となったことから、「日本最後の仇討ち」とされています。討たれた7名は地元の村人によって「殉難七士の墓」として解説板の先の墓所にお祀りされています。

不動坂

現在の極楽橋から不動坂口女人堂までは、高野山開創1100年を期に、大正時代に改修が行われ、幅員・ルートともに大幅に変更されたルート(ピンク色)と、難所であった「いろは坂」を通るルート(赤色)があります。

お帰りは

不動坂口女人堂到着後は、南海りんかんバス「女人堂」バス停より「高野山駅」へ。「高野山駅」からは、ケーブルカーを利用して「極楽橋駅」へ。「極楽橋駅」より南海高野線を利用してお帰り下さい。



ひとくちメモ

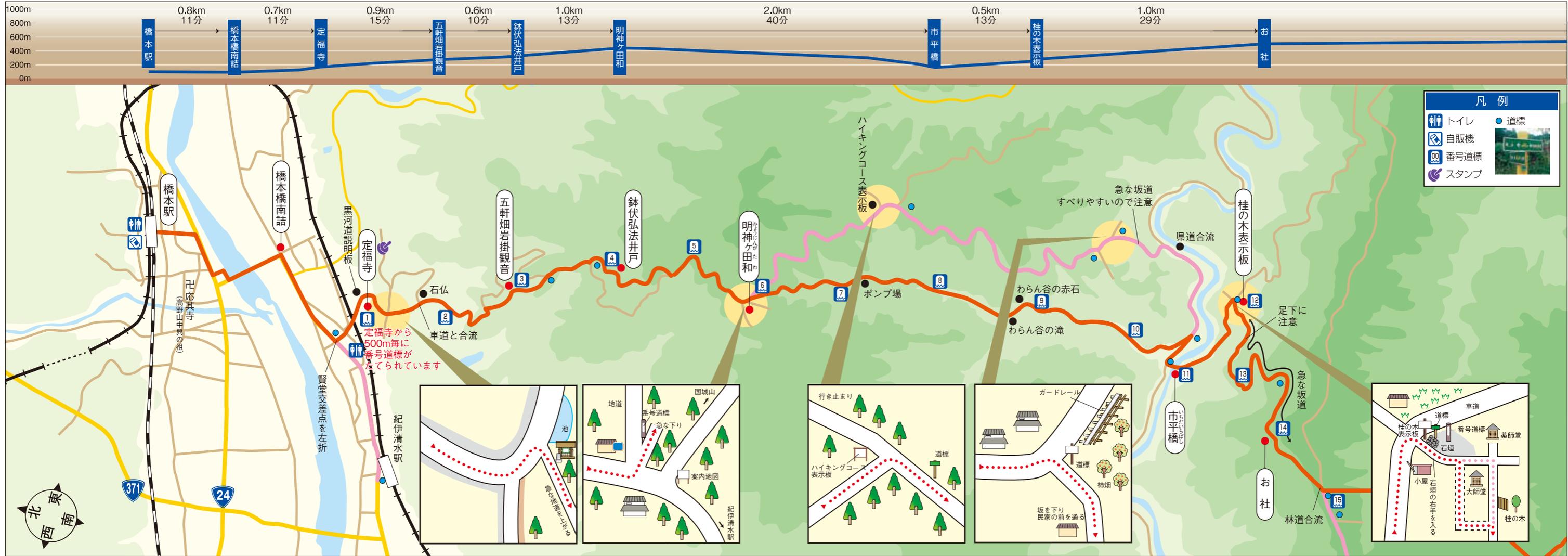
高野山内は、点在する見所を、時間をかけてじっくり歩きたいものです。散策した日は、宿坊で宿泊のうえ、朝から参拝し歩いた方が、より高野山の奥深さを味わっていただけることでしょう。
山内では、現在50カ寺が宿坊寺院としてご利用いただけます。それぞれに特色があり、美しいお庭の鑑賞、修行僧が配膳してくれる精進料理、本堂での早朝勤行など、日常とは異なった時間をお過ごしいただけることでしょう。
お問い合わせ：(一社)高野山宿坊協会 TEL.0736-56-2616

高野参詣道黒河道 橋本駅(橋本市)～高野幹部交番(高野町) ①

歩行距離 18.1km
標準歩行時間 5時間44分
標準所要時間 7時間35分

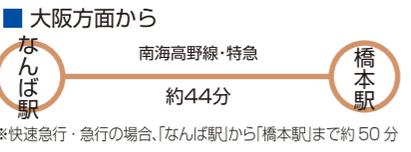
橋本市からほぼ真南に高野山をめざす健脚ルート。
いくつかの集落・集落跡を通り、峠越えを重ねて高野山をめざします。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



スタート地点までのアクセス

大阪方面からは、南海高野線「なんば駅」を起点に特急、快速急行又は急行にて「橋本駅」へ。または、JR和歌山線で「橋本駅」へ。



南海高野線 特急こうや停車駅
なんば、新今宮、天下茶屋、堺東、金剛、河内長野、林間田園都市、橋本、極楽橋
南海高野線 快速急行・急行停車駅
なんば、新今宮、天下茶屋、堺東、北野田、金剛、河内長野、三日月市、美加の台、林間田園都市からの各駅
急行は上記河内長野までの停車駅と河内長野からの各駅

桂の木

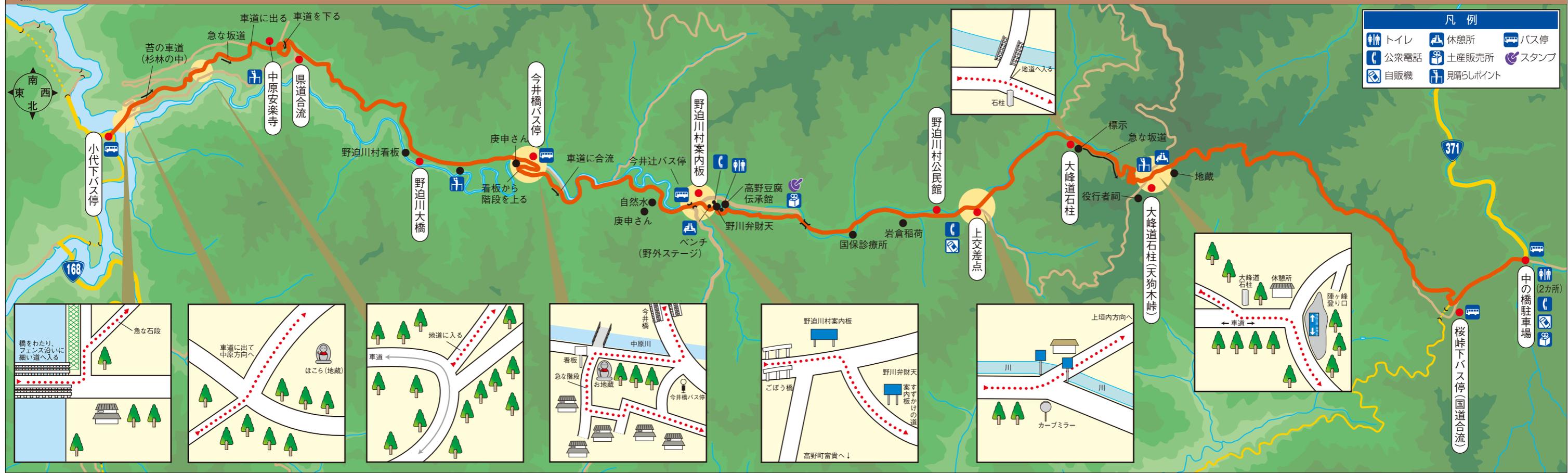
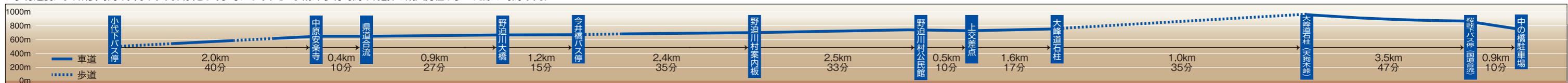
市平集落の氏神社「春日神社」に、九度山町指定文化財の「桂の木」があります。カツラ科の雌株一本で、樹高35m、胸高直径1.1m、根の回り約8m、樹齢推定で300年以上の大木。明治初期の頃、この付近に18本のカツラの木が林立し、荘厳な景観を誇っていました。この木の特徴は、四季おりおり葉の色が七色に変わり、近郷住民は農耕暦の尺度として、この木を大切に守り育ててきたと伝えられています。

【大峰道 小代下(五條市)～奥之院(高野町)】

歩行距離 16.9km
標準歩行時間 4時間39分
標準所要時間 6時間15分

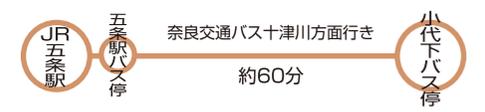
高野山と吉野・大峯、2つの霊場を結び、修験者と巡礼の人々が歩いた街道。
昔の面影のある家並みを通りながら、五條市(旧大塔村)から野迫川村を経て、高野山に至ります。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



スタート地点までのアクセス

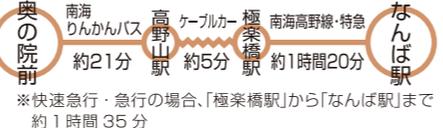
JR五条駅前より、奈良交通バス十津川方面行きへ乗車、小代下バス停で下車してください。



お帰りは

中の橋駐車場到着後は、南海りんかんバス「奥の院前」バス停より「高野山駅」へ。「高野山駅」からは、ケーブルカーを利用して「極楽橋駅」へ。「極楽橋駅」より南海高野線を利用してお帰り下さい。

高野山から大阪方面へ



標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

小代下バス停	9:15	中原安楽寺	9:55	野迫川大橋	10:05	野迫川村案内板	10:42	野迫川村公民館	10:50	大峰道石柱	11:50	大峰道石柱(天狗木峠)	12:30	中の橋駐車場	13:03	奥之院を参拝	13:10
			(休憩)				(休憩)		(途中、自然水地点で10分休憩)		(付近の野外ステージで昼食)		(休憩)				

・当地には、携帯電話の不通区間がございますので留意下さい。
・獣類の出没、冬期には積雪情報に充分ご注意ください。

「大峰道 小代下」奥之院

有田・龍神道(P26)

【有田・龍神道 はなその温泉「花園の里」(かつらぎ町)～大門・龍神口(高野町)】

歩行距離 12.7km
標準歩行時間 4時間20分
標準所要時間 5時間05分

かつては、護摩壇山・龍神温泉を経て中辺路に通じた、奥辺路とも称された街道。眺望を楽しみながら、大門をめざします。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



スタート地点までのアクセス

大阪方面からは、南海高野線「なんば駅」を起点に特急、快速急行又は急行にて「橋本駅」でJR和歌山線に乗り換え、「JR笠田駅」駅前より、かつらぎ町コミュニティバス「新城・花園コース」へ乗車、終点「花園」バス停で下車してください。



※快速急行・急行の場合、「なんば駅」から「橋本駅」まで約50分
南海高野線 特急こうや停車駅
なんば、新今宮、天下茶屋、堺東、金剛、河内長野、林間田園都市、橋本、極楽橋
南海高野線 快速急行・急行停車駅
なんば、新今宮、天下茶屋、堺東、北野田、金剛、河内長野、三田市町、美加の台、林間田園都市からの各駅
急行は上記河内長野までの停車駅と河内長野からの各駅

お帰りは

大門到着後は、徒歩または南海りんかんバス「大門」バス停からバスにて「高野山駅」へ。または千手院橋方向へ移動。「千手院橋」バス停から、「高野山駅」へ。「高野山駅」からはケーブルカーを利用して「極楽橋駅」へ。「極楽橋駅」より南海高野線を利用してお帰り下さい。



※快速急行・急行の場合、「極楽橋駅」から「なんば駅」まで約1時間35分

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

はなその温泉「花園の里」	9:30	林道合流	11:10	11:20
			(休憩)	
辻ノ茶屋交差点	12:05	湯川辻	12:30	13:40
	(昼食・休憩)		(休憩)	
高野町相ノ浦湯川分岐	14:21	龍神口・大門	14:35	
	(到着後、徒歩にて高野山内を散策)			

・当地には、携帯電話の不通区間がございますので留意下さい。
・獣類の出没、冬期には積雪情報に充分ご注意下さい。

当ルートは、「高野山龍神口のみち」として
近畿自然歩道に指定されています。

【相ノ浦道】

高野山霊宝館の東側を南下し、女人道上の相ノ浦口を通って高野町相ノ浦地区に至るルートです。

【高野山内マップ】



「有田・龍神道」はなその温泉「花園の里」～大門・龍神口